

平成31年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	村木真由
		全体計画						経費区分		-		内線	245-0407
事務事業名	4313 博物館管理運営事業												
所 属	130500 社会共創部・生涯学習スポーツ課												
施 策	04011900 生涯学習・文化・芸術・歴史を大切にしまちづくりの推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100604 教育費・社会教育費・博物館費											
	事業	020000 博物館管理運営事業											
事業目的						事業概要・効果							
貴重な文化財を広く展示公開し、市民の学習に資する。 須坂市の歴史、文化財について調査研究を進める。 各種講座等を開催して、生涯学習に対する多種多様な 市民ニーズに応える。						資料の収集・保存及び調査研究を行うとともに、特別 展をはじめとする展示活動や各種講座・講演会などの 事業を推進し、市民の生涯学習の場とする。 また、全市をフィールドとした「どこでも博物館」の 活動を推進するため、博物館ボランティア会とともに 活動をすすめる。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
特別展（吉向焼） 入館者数 954人 館外企画展示「須坂きのこ展」 入館者数 907人 スポット展示「猿の根付展」 入館者数 643人 特集展示（堀家の雛人形など） 入館者数 1,042人 干支コレクションアワード2016猿への参加・投票 全国第1位	特別展（北村方義） 入館者数 782人 特集展（印籠・根付） 入館者数 980人 特集展（堀家の雛人形など） 入館者数 947人 館外企画展示「須坂きのこ展」 入館者数 612人 NHK大河ドラマ関連スポット展示「上杉景勝書状」
平成29年度 実績	平成30年度 実績
特別展（須坂藩14代） 入館者数1,006人 館外企画展示「須坂きのこ展」 入館者数489人 八丁鎧塚まつり 入場者数1,200人 博物館基本計画策定委員会	記念展示「幕末・明治期の須坂」 館外企画展示「須坂きのこ展」 八丁鎧塚まつり 博物館基本計画策定委員会
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
特別展（能面） 館外企画展示「須坂きのこ展」 八丁鎧塚まつり 館外講座「臥竜山たんけん」 収蔵品整理	館外企画展「須坂きのこ展」 館外講座「臥竜山たんけん」 収蔵品整理

指標名	年間入館者数					単位	人
算式	年0.5%の増						
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標	5,714	5,742	5,771	5,800		5,829
	実績	4,073	2,894	0			
指標選定の理由	常設展示の充実を図るとともに、特別展示等を行い、市民が歴史・文化・芸術に親しむ機会を提供する。						
最終年度目標の根拠	平成26年度実績値（5,657人）より、各年0.5%ずつの増						
指標名						単位	人
算式							
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	人
算式							
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		13,049	15,010
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	944	0
	地方債	0	0
	その他	1,162	10
一般財源		10,943	15,000
人員数 (人)	正規職員	0.9	0.8
	嘱託職員	1.9	1.7
	臨時職員	0.3	1.2
人員 コスト	正規職員	6,435.0	5,720.0
	嘱託職員	5,462.5	4,887.5
	臨時職員	373.5	1,494.0
	計	12,271.0	12,101.5
市民一人当たりの経費		0.5	0.5
総額		25,320.0	27,111.5

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	793	講師謝礼373、展示品借用・指導等謝礼117、委員等謝礼303
11節 需用費	1,499	展示等消耗品費369、燃料費73、印刷製本費（ポスター、チラシほか）698、光熱水費185、修繕料163 外
13節 委託費	376	警備保障委託
15節 工事請負費	843	事務室移転電気設備工事497、博物館屋根上部相輪撤去346
19節 負担金補助及び交付金	149	博物館協議会負担金（全国・北信越・県）23、きのこ展共催負担金126
その他	9,389	報酬5,586、共済費1,109、賃金1,435、旅費156、役務費867、使用料及び賃借料155、備品購入費75、公課費6

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	369	講演会・講座等講師謝礼190、展示品借用・指導等謝礼115、委員等謝礼64
11節 需用費	1,891	展示等消耗品700、ポスター・チラシ等印刷500 ほか
13節 委託費	829	館内警備保障委託393、大型製糸模型等解体・搬出436
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	153	博物館協議会負担金（全国・北信越・県）23、きのこ展共催負担金130
その他	11,768	報酬5,653、共済費1,308、賃金3,613、旅費192、役務費844、使用料及び賃借料158

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民が歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に親しむこと、また、その生涯にわたる学習に資することを目的に、展示活動及び講座活動を開催している。今後のまると博物館構想の進展が期待されている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	明治150年記念および須坂藩第13代藩主堀直虎没後150周年記念事業として、記念展示「幕末・明治期の須坂」を開催した。須坂藩・堀家や郷土の歴史について市民等の理解と関心を深めることができた。また、長野県地域発 元気づくり支援金を活用して各種事業を実施した。記念展示にあわせて、市民ボランティアの研究発表の場を設けテーマ展示を行い、市民が歴史文化について主体的に学習を深めることができた。閉館中に伴い今後の博物館再開に向け収蔵品整理が課題である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	博物館ボランティアの協力を得て、糸取り体験や昔の道具解説等の収蔵品活用を展開している。今後の大規模改修に向け多大なコストが見込まれるが、機能分散型総合博物館により効率的な運営が望まれる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地域の歴史・文化の概観を学ぶ拠点として、市民の歴史・文化学習に資するために展示・講座等を開催し、情報発信に努めた。開館50年を経過し老朽化した博物館について、今後のあり方について検討し基本計画を策定するため、昨年度から継続して須坂市立博物館基本計画策定委員会を開催し、基本計画を策定した。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）	次年度以降の方向性	抜本的見直し（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
須坂市立博物館基本計画に基づき機能分散型総合博物館及びまるごと博物館構築が課題。あわせて収蔵品整理を進める。		機能分散型総合博物館の実現に向け、関係施設の整備 ・改修及び展示を進めると共に、仕組みづくりを行う 。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	